

## 7. 高大接続事業

高大接続事業の一環として8月に高校生向け「公開講座」、2月に「高校生ワークショップ」を計画し、本学教育学部等を進学に、さらには教員を目指す生徒を対象に事業を展開した。

### (1) アドミッションセンターとの連携による「公開講座」

公開講座「令和の時代の教師を考えよう」を8月6日に実施を計画したが、茨城県のコロナ特別警戒発令により4日に急遽中止となった。2年連続での中止となり、特に、今年エントリーした高校生たちには申し訳ないことをした。

### (2) 本センター主催の高校生ワークショップ

1月29日(土)に、高校生ワークショップを本全学教職センターの主催で行うことができた。教職に興味がある、あるいは将来教師を目指そうと考えている水戸市近郊の県立高等学校1年生と2年生を対象にした。「これからの教師にもとめられるもの」というテーマのもと、このコロナ禍にあってICTをいかに活用していける教師像を参加生徒たちが作りあげていくかをPowerPointでのプレゼンテーションで発表する機会をつくった。今回はZoomを利用したオンラインでの大学授業体験、さらには話し合い活動を各班で行った。本学の教育学部等への入学意識を高め、教員になろうとする意欲の高揚を図る目的でもあった。4高9名のエントリーがあった。当日参加者は都合により7名となった。

朝9時過ぎから1時間の昼食をはさんでPowerPointによる発表まで盛りだくさんで午後4時半過ぎまで2班でZoomを通しての話し合い活動、プレゼンテーション資料の作成に真剣に取り組んでいた。高校生たちは、ZoomやPowerPointの使用が初めての生徒の多く、操作の仕方からまなび、さらに利用しての主題に迫る時間は充実したものとなった。最後のプレゼンテーションも立派に発表ができた。

### 【高校生のプレゼンテーションの資料から】

